いわき民報

電三八一番
市內四八八
郡內四八八
千輝定一
振替仙台一八八
日刊　但し月曜を除く
定價一部四十円　一部一円五十錢
發行所
株式會社いわき民報社

指定
眼鏡專門
各種科醫
玉屋
平二丁目　TLE910

赤旗掲げ檢察廳へデモ

小名濱局職場離脫者逮捕問題で

十四日午後三時頃全逓小名濱支部員を中心としてその他約三、四十名が赤旗を立てゝ小名濱郵便局員職場離脫問題の指導者として十三日夕刻逮捕せられた支部長片寄幸男ほか五名の釋放及び反對のデモを平檢察廳に行い「赤旗の歌」を合唱して氣勢を揭げたが右の内七、八名の代表者は全逓宮發上席檢事に面會を求めたしかし不在のため藤田事務官と應對御記六名に對する逮捕理由及び即時釋放を要求したが、藤田事務官は「責任者もいないため確答は出來ぬ」と拒り彼等デモ組も明日午後二時頃の再會を約して引上げた

漁夫の各勞組支部員約七百名は臨港隊前に集り、小名濱局員の檢舉反對、不當逮捕の氣勢を上げて日本水産勞組大平八郎氏の指導の下に町内デモ行進を行つて正午ころ全町第一小學校で解散した

逃走中の支部長 片寄幸平氏逮捕

きのう小名濱局で殘るのは二名のみ

【昨朝】小名濱郵便局職場放棄事件の煽動者として八名に逮捕狀が發せられ、うち五名逮捕された三名は逃走中だが、逃走者の一人全逓小名濱支部長片寄幸男（二五）は十四日夕刻小名濱局内で小名濱警察に逮捕された

即時釋放懇請

きょう午後友誼團體の四百名が

小名濱局員問題について十五日午後二時から配炭公團常磐支團、全逓、吳羽化學、日本水素、全石炭等の各市郡下の友誼團体約四百名は平驛前に集合（集會責任者配炭公團常磐支團鈴木光雄氏）直ちに平檢察廳に詰め掛け小名濱全逓從業員逮捕に就いて當局の理由説明を求めるとゝもに即時釋放の懇請を行つた

道路補修の陳情

田町中央通り道路が最市内田町中央通りは道路が最石炭保安對策委員會は十四日

中小炭鑛 保安調査

十七日から三日間

川部村長選擧日決る

十月五日教育委員選と同時に

小野前村長も結局は再出馬か

川部村では過般村稅賦課問題から村會改選を斷行したが、反對派が新村會に多數を占めたゝめ遂に村長のイスを投出したゝ小野伍一村長の後任村長選擧は各方面の注目の的となつているが、いよ〳〵來る十月五日教育委員選擧と同時に行うことにし、今日十五日告示した、なお立候補者は既に二、三の顔觸が數えられているので無競爭は望めない、又小野氏の再出馬は未だ疑問視されているが最近小野氏に對する同情も相當多いので、これらの情勢から結局は再出馬をみるのではないかと豫測されている

淺沼代議士等招いて

十九日社會黨内郷支部結成大會

社會黨内郷支部結成準備會は十四日午後六時から内郷町新制中學校に開催したが、これが最後の準備會で來る十九日には淺野記念館（豫定）に中央の社會黨書記長淺沼稻次郎代議士菊川忠雄代議士、都會議員本島百合子女史その他關出身社會黨代議士らが集まり内郷支部結成大會を開く豫定であるが支部の黨員獲得は二百名となつている

物見ヶ岡稻荷 秋の大祭

盛澤山な余興

平市物見ヶ岡神社秋の本大祭は十六、十七の兩日盛大に行はれるが余興として藝能大會ハワイアンバンドの演奏、打上花火（豫定）その他盛澤山で好評の稻荷くじもスピードくじ式に空くじなしとある

平市民生委員の協議會

市の民生委員協議會及び二十三年度共同募金實施に關する打合會は二十二日午前九時より公會堂日本間に開き既報の生活扶助基準改訂並に共同募金をはじめ母子寡人所者決定などについて協議する

家事審判所 委員懇談會

平家事審判所では十九日大館村玉山鑛泉旅館で參與調停委員の懇談協議會を開く、協議案は

◇家事審判法施行後の概況

◇同法運用

その他で、終つて懇親會を開く

他殺と認定身元調査

勿來警察骨屬件に俄然色めく

（既報）勿來町酒井字和台江の彤林中に發見された白骨死体については急報により縣捜査課から木村警部補、鑑識課菊地課長等が十四日午後急行調査を開始したが白骨が直經一尺四、五寸の穴の中に骨もくずれずに入つてある點また頭がい骨に長さ二三寸のひびが入り又幅二、三寸長さ一尺の陥没もあり、他殺によるものと認定した樣子で勿來町署では目下全員を擧げて身元調査に當つている

三年行方不明の 伊藤善右衛門か

身元については今の處不明だが、二十一年六月十日小名濱に魚買いに行くと稱して現在まで行方不明であつた伊藤善右衛門（五四）さんの死体ではないかと見られてをる

情婦殺しに八年求刑

被告席の机に泣き伏す太田文門

勿來町酒井字和台太田文門（二四）に係る情婦殺しの第一回公判は十五日午前十時二十分から平地裁支部に於て志村裁判長、安藤、猪狩、兩判事陪席、宮後檢事の立合、門傳辯護士係りで開廷した、法廷は開廷二時間前から傍聽者はキッシに詰ズボン五分刈姿で顏色蒼分蒼さめ傷心の有樣で同情をひいた、事實審理に入るや悔悟の涙にスラ〳〵と申立てさい後に情婦浦のめい福を祈り浦の兩親や自分の親兄弟に又世間を騷した罪を詫びて被告席の机に泣き伏した、續いて檢事官の同情ある論告あつてから傷殺八年を求刑した

とんでもない やきもち男

傷害恐喝で檢擧

熊町字西後潭農有本司一（三一）は去る十日午後一時頃大野村字下谷地線路工事場部樂吉（二一）さんを裏山に連れ出し突如かくしていた金樣で全治三週間の傷害を與え富岡署に逮捕された、有本は熊町の志賀てる（一九）さんの婿養子になる積りでいた樂吉さんと關係があることを知り嫉妬のあまりこの暴擧に出たもので、毆つた上あい首を突きつけて恐喝し又鑑道樂の官給品であるズボンや圃はんも奪つて渡部が官給品を失えば解雇されると渡部な考いからやつたものである

精神科

内科
平市橋
鹿小路

アラタメ
新開自醫院
電15

十六、七兩日
物見ヶ岡
稻荷神社
秋の本大祭
藝能大會
ハワイアン
バンド樂團演奏
打上花火（予定）

母愛儀　永らく病藥療養中の處十四日午前九時死去致しました　亞に生前の御厚誼を深謝し謹んで御知らせ致します　尚葬儀は十六日午後二時自宅出棺大寶寺に於て佛式により營みます　昭和二十三年九月十四日　平市四丁目
男　三井愼一郎
父　三井富吉

引揚者に洋傘配給

市社會課では第一次引揚者用洋傘が次の如く割當になつたので近く一世帶一本の割で配給券を發行する

男物五〇本（六一九円七三錢）女物五五本（六〇四円

本年度配當 三分に決定

小名濱信用組合

小名濱町信用組合役員會は十四日開き、小名濱埠頭會社の株申込みは二百株、役職員の待遇改善のため二割乃至三割の增俸を行うほか八月末げん在の純益は十六万千七百十五円六十七錢なので三分の本六度は配當をすること及び學童貯金の現在は七十二万三千八十八円八十八錢なので學校側と懇談これを百万円に增額運動を起すことを決議、更らに例年行う秋の役職員慰勞旅行は時節柄中止しその費用の一部を慰勞金として出す事にもなつた

蔬菜需給の協議會

十八日市役所内で

本年度第三、四半期蔬菜需給協議會は十八日午前十時半から市役所會議室に開き、各荷受機關の代表者の參集を求め三、四半期蔬菜出荷配給割當事業者團体法施行に伴う各關係機關の整備、蔬菜價格等につき協議する

壇論報民

暴力行爲を嚴重取締れ

野澤本社々長

宅に眞夜中面會を強要してはねつけられたら放火するとわめき玄關の硝子戸を破つて逃走した犯人清野彦衛（二一）が清水市でつかまり平署に送られた、同署の金田司法主任が取調べの結果清野は菊地二郎（一八）假名をつかつて二人でこの暴力に及んだものでその動機は鈴木市長は市民の九十パーセントとの投票があつた人であり、それをいわき民報が平地に波瀾を起すような事ばかり書いたから義憤を感じ社長に面會して話が判らないときは歐りつける積りであつた、殺す考えはなかつたと云い、又誰れにも教唆されたのではないと申立てた。

思うにこの暴力行爲は言論を抑壓せんとして計畫的に行はれたものでその背後には必ず黑幕の使嗾者がいることゝ思はれる、警察當局もこの重大問題を清野の申立だけを信ずる譯にはいかないので背後關係を徹底的に調べることになり容疑者は近く檢擧されるものとみられるが、この恐るべき背後關係者を突きとめることが出來れば警察の威信があるが、それが出來ないとすれば警察が殘つているわけであるから威信は失うことになる、何故に背後の教唆者があるかと言えば犯人清野は平商半途退學の不良兒で市政には關心を持つていない人物でありその證據に鈴木市長が九十パーセントの投票があつた人氣者といつているほど甚だしい認識不足者であり、これから見ても誰れかこんなことを教え込んでやらせたものとしか思はれない、もしも政治というものに關心と研究心があつたとすればその方面に多少なりとも關係していたはずであると思はれる清野は又平市内にはいられない不義理をしてこの地を去るはずだつたといはれるのでその行きがけの駄賃を誰れからか貰つてやつたようにも考えられる

さてこの種の犯罪が幾にいけない理由を述べる、過ぐる戰爭時代に軍閥が言論を統制抑壓したのである、今や民主主義時代における日本再建の途上軍閥にかわる暴力によつて言論を抑壓せんとすることは軍閥同樣危險極まるものであつて若しもこうした暴力の横行にまかせたとすれば日本はまた暗黑の國と化すことが必定である、檢察當局はこゝに充分留意せられ明るい日本の建設のため斷乎たる方針で善處されんことを希望するものである

（田原）

いわき すぐれた

すいます　願錄登ご記下非是は店錄登給配炭新

平市紺屋町　電二四四　市原藤子
平市正月町　電一八四　伊東長三郎
平市久保町　電二八一　古田部春吉
平市柳町　宍戸武雄
平市柳町　大庭常七
平市田町　酒井喜七
平市南町　佐々木スズ
平市南町　賀澤顯治
平市鍛冶町　高田由衛
平市胡摩澤　花澤久二郎
平市新川町　電六〇一　長榮重
平市才槌小路　電三三五　佐藤福太郎
平市田町　狩谷さた
平市鎌田町　高木保次郎
好間村川中　阿部菊美
好間村上好間　鈴木重行
好間村上好間　木村庄五郎
内郷綴町　遠藤忠作
内郷宮町　草野利一
内郷御殿町　永山マン
内郷御殿町　虫本伊四郎
内郷宮町　牛久信二郎
高久村下高久　矢吹信夫
夏井村　矢吹德次郎
草野村泉崎　笠原健次
神谷村鎌田　電八六七　片寄保
赤井村高萩　草野米彌
上小川村　兼本三男也
赤井村高萩　草野重松
下小川村　草野弘三
赤井村　西山孝平
内郷町　樫村周次郎
佐藤三平

部外者としての平市政

内郷町　蒲生正利

隣接せる平市の市政について私は部外者としていさゝか批判して見たい、伊東一老大人の御意見も鈴木傳明先生の御批判も興味あるものとして數回繰り返し熟讀させていたゞいたし又公正なる各新聞紙の報導も深いかん心を以つて讀んでいる、それは平市は此の石城郡の中心地であり各町村を指導して行かねばならぬ立場にあり平市政は直接間接に石城郡全町村の利害に深い關係を持つからである

私は第一にいわき民報社長の自宅の襲撃事件を聞いた時にはさほど驚かなかつた、平市では普通のことであり、むしろ蛯澤社長が無事であつたことを不思議でならなかつた、平市に限つて暴力行爲は天下御免である、私も數回襲はれており又平市の或る種の暴力に限り警察力は無能である、一々説明するまでもなく市民諸君は肯けることゝ思う、特に田町に於ける或る程の暴力行爲が堂々と行はれて來たことを田町の諸君はいなめまい、二、三の例を擧げれば濱野彦衛の傷害事件に關して被害者が六週間の重傷を負い安齋病院に入院する程の傷害を受けた時警察は何をしたか、普通なら直ちに逮捕しなければならないのに二、三日經つてから初めて申譯的取調べをして書類のみ送檢したゞけだつたと聞いている、又或る藝者屋が深夜女を出さないからと云つて暴行されたとか、又料理屋が客室にふみ込まれたとか通行人がおどかされたとか枚擧にいとまがないぐらいである、然るに嚴重取締るということを何回も新聞紙上で聞いているが取締つたということを聞いていない、鈴木傳明先生の百鬼畫行は市政のみでなく治安においても終りである

今少し強く徹批判下さらなかつたことがむしろ部外者として心細かつた、今回の丸公事件に對しても矢吹公安委員が種々非難されておりしかも越權問題、醫師法違反事件とかをひき起していながら公安委員を辭職する氣持がないことを私達は不思議でならない、矢吹氏は何故その職を離れるのがつらいのか、公安委員の職務が平市に限りそんなに有難い特權であるとすれば實に寒心に堪えない

又濱野彦衛が『平市政の刷新を身を以つて計る』という意味であることを聞いて私は鈴木市政が清野連にまで暴力を以つて刷新を計つてもらはなければならないのかと思うとむしろコッケイである、鈴木市長は永年政界に身を置き地方切つての政治家であることは誰れしも知らないものは無くその大政治家が清野連の身を以つて市政の刷新を計つてもらはなければならない理由はどこにあるということを私は批判したい、それは第一に氏の政治家時代は最も政黨政治の華かなりし頃でわが黨が政權をとればその黨に屬する町會議員位でさへ警察署長でもクビに出來た時代で代議士諸公に至つては天下御免の權行が出來たのである、故に他黨を徹底的にいためつけてわが黨政治の伸長を圖ることのみを念とし、他黨なら事の善惡にかゝわらず、反對せんが爲に反對し我黨天下を批判するものあらば直ちに檢擧し刑務所に送つたのである、政黨政治時代の甘さを今以つて忘れぬことの出來ない鈴木市長は古い政治觀念で他黨を排擊するが故に正しい市政を論ずることが出來ず切角の氏の人格も疑はざるを得ない目に陷つていると聞く

願くば鈴木市長よ大きい肚で戰爭の觀を呈している平市が平和條約を結び民主々義に導き給いと願うものである！

又鈴木傳明先生の言の如く鈴木市長を迎えて何をしたかと云うことである、私の目は只一つ天保時代の遺物のような蒸氣自動車が濟氣紫惡い音を立てゝ平市の目貫通りの道路の破損を緩慢に修理して居るような氣がするだけで少しも新味が無い、それから反對黨の關内消防團長が更迭されたこと、金古市會議長を葬むらんと第一小學校問題を起したこと、今野檢事が御馳走されたこと、公衆便所が一つ建てられたこと市長のすきな人が居るバラック建の市營住宅が遂に出來たこと、折角の國立病院を内郷町にくれたこと位しかわれ〳〵部外者は知らない

今後は市政刷新を圖り反對派と雖も大きな肚で迎えいれ平市のために最後の死に花を咲かせて欲しいと祈う、又伊東一老大人に願う、老大人の御意見もつともである知己の為に身を捨てる氣持も敬慕したい、然し市長を擁護すると同時に大久保彦左衛門の如しして市政を正道に導くよう盡力して貰いたい

最後に或る種の暴力に對し特種なる者たちに警察權の行使がにぶつている、警察官も人間である以上自らの生活を考える又自己の身分も感かるしかも青年警察官達は眞に今後の平和日本の治安のために身を挺して守らんの希望に燃えている、それをはばむ者は誰ぞ卽ち一種の階級特權者であるハ平市長はその特權者たちより警察の運用權を奪はなければならない、私は平市青年諸君に望むことわ市政を老人に任せすぎると思う、よろしく市民大會を開き徹底的に市政にメスを入れて市政の擔當者を集めて公聽會を開き市民に眞相を知らせるべきであると思う

問題音騒本湯

改めて本格的解決懇談

縣からの正式調査指令に基いて

【既報】かねて湯本町吹谷佐藤正太郎氏ほか十余世帶の附近の精米業新妻實氏の製粉工場の深夜業騒音問題並にボイラー設置計畫と火防問題にからみ去月二十七日湯本町長に善處方を陳情、この結果去る二日夜比佐町長を始め關係者が懇談、「深夜業は中止する」等のほか三ケ條の基本項目を決定、具体的内容は早急に取まとめ後日相互の諒解を得ることとして一應けりをつけていたところ突如十四日吹谷住民側が先に縣知事にも陳情していたゝめ縣側より湯本町長宛調査指令書が到着したため問題こゝに再び重大化した、よつて町としても本格的に問題に介入、円滿解決の狀況を縣に報告せねばならぬ事となつたので小野英二郎町會副議長を町長代理として同日午後六時半より各關係者を役場會議室に招き急遽懇談會を開いた

住民側要求 八項目

開會先づ新妻氏町民達に陳謝す

出席者は小野町議のほか小井戸消防團長、庄司瀧吉、高木寧男、吉田恭平三町議、食糧事務所佐藤出張所長等のほか關係者多數で先づ小井戸町議より即回懇談會の經過報告後高木町議より「自分は住民側の依頼により代表となつた」旨を述べ次いで新妻氏から附近住民に迷惑かけた點の陳謝をなして協議に入つたが、住民側代表高木氏より前回の決定事項に基く具体的事項について大要左の通り要求した

第一項作業は五時までとし夜間作業は中止し、止むを得ない場合は相互の諒解を得て時間の延長を計ること

第二項防音裝置は亳も附近住民に影響を與えぬ樣入念な裝置をすること

第三項防塵裝置は鐵板その他のもので嚴重な施設をしなお四散するものについては屋上十尺以上に煙突をつける等いさゝかも住民に迷惑をかけぬこと

ボイラー問題で暗礁へ

高木庄司兩代表で改めて折衝

以上の要求事項につき家條的に協議に入り小井戸、小野、吉田、庄司、高木等の各町議より活潑なる意見が出て愼重懇談を重ねた結果、工場主側は

第一作業時間は今後午後六時を以つて終了し延長する場合は諒解を得ることとの場合でも午後九時以上は越さない

第二防音裝置は早急に防音の効果ある設備をなすこと

第三防塵裝置は要求書の通り行う

等を承諾したが第四項以下の各項目については問題の核心を衝き他へ影響強いため双方互いにゆずらず遂に住民側代表高木寧男町議と工場主側庄司瀧吉町議とで一兩日に更に懇談の上早急に解決を計ることとなり九時半すぎ解散した

町議の一方的介入は紛議の本だ

小井戸消防團長談

右につき十五日小井戸消防團長は

第四項準備中のボイラー及び煙突の設置については住民側に充分なる安心感を與えるよう住民の意志にもとずくこと

第五項万一事故發生の場合は工場主及びその連帶保證人は被災者及び家族に對し滿足の出來るような損害補償をなすこと

第六項前項各施設に不備ありと認めた時は右に付更に嚴重なる要求が出來ること

第七項今後の工場内モーター等の移動については住民側の諒解を得ること

第八項附近住民かこの工場の影響により營業不能となつて他へ引越しをせざるを得ない樣な場合の經費補償をなすこと

この樣な問題は町議が一方の代表等となつて介入することは誤解をまねき易く、かえつて問題を紛糾させる以外の何ものでもないと考える、町議は常に嚴正中立の立場から介入すべきだとは誰れしも知らないものは無くその大政治家が清野連の身を以つて市政の刷新を計つてもらはなければならない理由はどこにあるということを私は批判したい、それは第一に氏の政治家時代は最も政黨政治の華かなりし頃でわが黨が政權をとればその黨に屬する町會議員位でさへ警察署長でもクビに出來た時代で代議士諸公に至つては天下御免の權行が出來たのである、故に他黨を徹底的にいためつけてわが黨政治の伸長を圖ることのみを念とし、他黨なら事の善惡にかゝわらず、反對せんが爲に反對し我黨天下を批判するものあらば直ちに檢擧し刑務所に送つたのである、政黨政治時代の甘さを今以つて忘れぬことの出來ない鈴木市長は古い政治觀念で他黨を排擊するが故に正しい市政を論ずることが出來ず切角の氏の人格も疑はざるを得ない目に陷つていると聞く

願くば鈴木市長よ大きい肚で戰爭の觀を呈している平市が平和條約を結び民主々義に導き給いと願うものである！

又鈴木傳明先生の言の如く鈴木市長を迎えて何をしたかと云うことである、私の目は只一つ天保時代の遺物のような蒸氣自動車が濟氣紫惡い音を立てゝ平市の目貫通りの道路の破損を緩慢に修理して居るような氣がするだけで少しも新味が無い、それから反對黨の關内消防團長が更迭されたこと、金古市會議長を葬むらんと第一小學校問題を起したこと、今野檢事が御馳走されたこと、公衆便所が一つ建てられたこと市長のすきな人が居るバラック建の市營住宅が遂に出來たこと、折角の國立病院を内郷町にくれたこと位しかわれ〳〵部外者は知らない

今後は市政刷新を圖り反對派と雖も大きな肚で迎えいれ平市のために最後の死に花を咲かせて欲しいと祈う、又伊東一老大人に願う、老大人の御意見もつともである知己の為に身を捨てる氣持も敬慕したい、然し市長を擁護すると同時に大久保彦左衛門の如しして市政を正道に導くよう盡力して貰いたい

最後に或る種の暴力に對し特種なる者たちに警察權の行使がにぶつている、警察官も人間である以上自らの生活を考える又自己の身分も感かるしかも青年警察官達は眞に今後の平和日本の治安のために身を挺して守らんの希望に燃えている、それをはばむ者は誰ぞ卽ち一種の階級特權者であるハ平市長はその特權者たちより警察の運用權を奪はなければならない、私は平市青年諸君に望むことわ市政を老人に任せすぎると思う、よろしく市民大會を開き徹底的に市政にメスを入れて市政の擔當者を集めて公聽會を開き市民に眞相を知らせるべきであると思う

平稅務署の滯納整理調

圓滿解決のほか他意は絶對ない

高木町議の談右について高木町議は語る

小井戸團長の言分は眞にごもつとも思う、しかし自分は早急に円滿にこの問題を解決したい考えから承諾したのであつて他意は絶体にないと語つている

平稅務署では去る六日から第二次特別整理期間として約一ケ月間滯納整理に當つているが一週間における成績は二十三年度所得稅二百四十件現金納入で百万円、滯納執行處分は十六件で、タンス五棹、豚一匹、衣類十三點、ラヂオ四台、机三ケ、電蓄一台、置時計（大型）一ケ、リヤカー一台、木箱一台、陳列棚一台で十二万九千五百円、これらの滯納處分にあつた町村は赤井好間、湯本等で特に滯納の多い小名浜、江名、豐間等は漁獲があれば早速支拂うと意氣まき署員をこずらせている

教職員希望者に結核の精密檢査

石城地方事務所では今後の學校教職員就職希望者に對して結核性病患の精密檢査を知事の指定する左の醫師に診斷してもらい今迄の普通身体檢査による診斷書と共に提出する事になつた、これにより精密檢査の結果、要休養者、要療養者の判定を受けたものは採用しないことになるわけ、

檢査種類は

一、ツベルクリン皮内反應檢査　二、レントゲン檢査　三、喀たん檢査　四、血液沈降速度檢査の四種である

縣衛生技師（保健所含む）縣學校衛生技師、縣内綜合病院、其の他知事の適當と認めた醫師

共同募金 郡の割當額 二四五万圓

來月から募金に郡部の本年度共同募金目標額がこの程二百四十五万六千円と決定、目下各町村の割當を縣民稅を基準に計算しているが、來月一日から完遂を目指し募金開始する、前年度の百九十八万六千円に比し四十七万円增額されており縣下二千万円の一二、二八%が郡の目標であり今年も前途に農作期運動會による P.T.A の資出が嵩むなど種々困難が横たわつているが事務所では稅務與業街頭募金等に力い、或は町

馬の腦炎予防注射

平保健所郡下畜産協組地方事務所では左の日程で郡下の馬の腦炎ワクチン豫防注射を行う

十七日二十四日　夏井村十八日二十五日川前村

日頃の反感からと主張

本社長宅襲行犯人

本社長野澤武藏氏宅襲行犯人清野彦衛（二二）及び菊地二郎（一九）假名については目下市署金田司法主任及び安部部長刑事が取調べ中だが彼等の自供する處によると清野は日頃から野澤社長の論説に對して反感をもつていたが襲撃當夜は、タマ〳〵野澤氏宅前を通りかかつてフト日頃の反感がこみ上り、驛前にいた菊地を誘つて襲つたものであつて事前に計畫を立てたとか、又は誰かに使そうされたものでは絶体にないと主張している、然し菊地は殆ど何にも知らず唯清野から誘れただけに諸に行つただけであると自供している然し署ではなお徹底的に背後關係の有無を究明中で身柄は十六日送檢の樣定

傷害二件

十四日朝八時頃入遲野村大字前田農佐藤國夫（二六）は仝所の理髮業折笠勝子さん方で同人の看ていた毛糸のシャツのことから喧嘩、出刃庖丁で快り折笠さんの左腹部頭部を切りつけ瀕死の重傷ををわせた

傷害二件

十三日午後二時頃富岡町字釜田、喫茶店植杉俊夫さん方に茨城縣日立市宮田町戸ノ内田中一郎（四二）が來り蕨子類及果物、二百五十円相當を酒類及台鹽等二百五十円相當を飲食踏取し自分は仝町仲原旅館に泊つている者で金はすぐ持つて來ると逃げ出し、仝町釜田雜貨業堀川豐重さん方に行き前記植杉俊夫さんの名義をかたつてビース一ケきき出し一ケを詐欺して逃走せんとする處を富岡驛待合室で捕つた

地方事務所の親善野球

石城地方事務所（石城、相馬、双葉）第二

日頃の反感からと主張

本社長宅襲行犯人

清野彦衛（二二）及び菊地二郎（一九）假名については目下市署金田司法主任及び安部部長刑事が取調べ中だが彼等の自供する處によると清野は日頃から野澤社長の論説に對して反感をもつていたが襲撃當夜は、タマ〳〵野澤氏宅前を通りかかつてフト日頃の反感がこみ上り、驛前にいた菊地を誘つて襲つたものであつて事前に計畫を立てたとか、又は誰かに使そうされたものでは絶体にないと主張している、然し菊地は殆ど何にも知らず唯清野から誘れただけに諸に行つただけであると自供している然し署ではなお徹底的に背後關係の有無を究明中で身柄は十六日送檢の樣定

小家星兩君優勝

九日の將棋大會

平將棋与樂會の九月例大會は十二日右丁自會所で開催したが成績は左の通り

◇A賞1小家東太郎2今村廣光3大塚辰雄4大樂鐵雄（賞）淺野清藏、渡邊榮代志

◇B賞1星源吾2松崎吉三郎3鈴木七郎4中野一

詐欺漢

◇十二日夜九時頃上遠野村下崎東海炭鑛採炭夫伊藤富三郎（三六）は酒の上のことから仝炭鑛第一寮運搬夫鹽野半三郎（一六）さんと爭い鹽野さんの腹部をサシ庖丁で滿死の重傷を負せ植田署に逮捕された

灰

惨場赤井獄中

腹の山林中にいたゝましい一家五人心中の白骨死体が發見されて街々の話題の種となつたが更に十三日勿來町に又も白骨死体が、それも他殺の疑い濃厚な白骨が現われていいやが上にも一般の注目を浴びているが、この白骨死体の最初の發見者太田透君（一四）は誰あろう、去る七月十二日川部村櫻井藏川、農相馬喜七郎さん長女浦（一三）さんをナタで殺害、自首した太田文門（一四）の弟であることを知る人は少いしかもしかもその白骨が他殺体と見られて勿來署が驛命の捜査を始めているきよう十五日平裁判所一號法廷で當の兄文門が宮殺檢事から懲役八年の求刑を受けたのである、めぐる因果は小車の文句ではないが白骨にからむ何とがは秋風吹き初めた昨今では一寸絵の遠い怪談ばなしだが、いづれにしても目に見えぬきづなは奇しさ加減がまた街の雀を賑している

◇開業お知らせ◇
産科 婦人科 中田醫院
中田三郎
【入院室完備】平市材木町一四電（呼）四五四（聚楽館附近）

新裝成 初秋の訪れと共に
九月十五日 いよ〳〵開店致します
洋品・帽子・玩具・お子樣乘物
靴・鞄類・婦人裝飾品等
豊富に取揃えてございます
是非お出かけ下さい
平市三丁目 やまと百貨店

苛性ソーダ
多少に拘らず至急求む
姓名在社

開店
喫茶 珈琲（いこい）
映畫のお歸りには
お立寄り下さいませ
一町目南裏通り

◇新築移轉御知らせ◇
強制疎開以來驛前假營業所にて皆樣に御不自由をお掛け致して居りましたが今度三年振りに當所に戻つて參りましたから何卒倍當の御引立御支援の程御願い致します
平市四丁目十四（電一四四）
小野屋藥局

オモチヤ大量入荷
子供用三輪車
スケート・オート三輪車
御一覽を乞う
女事務員募集
◇高女卒の麗人
◇二十才から二十五才まで
◇委細面談
東京屋
平驛前通り いわき民報社隣